

栃木県総合教育センターだより

# 学びの杜通信

第111号 令和7(2025)年11月10日発行



## 栃木県教育研究発表大会申込みが始まります

令和8(2026)年1月30日(金)31日(土)に、「栃木県教育研究発表大会」(オンライン開催)を実施し、県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する研究成果等を広く公開いたします。今大会は、各部会の発表に加えて、学習院大学文学部教授 東京大学名誉教授 秋田 喜代美 氏による教育講話のオンデマンド配信も予定しております。多数の御参加をお待ちしております。

### 【日程及び発表部会】

1月30日(金)	1月31日(土)
<b>1部 11:10~12:20</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● SDGs の視点からの学習活動研究部会</li><li>● 人権教育部会</li></ul>	<b>4部 9:20~10:30</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 特色ある取組部会①(グローバル教育)</li><li>● 情報教育部会</li></ul>
<b>2部 13:40~14:50</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 学力向上部会</li><li>● 探究的な学び部会(高)</li></ul>	<b>5部 11:10~12:20</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 特色ある取組部会②(メタバースの活用)</li><li>● 教科における深い学び部会(高) ※ ※ この部会は 12:35 終了予定です。</li></ul>
<b>3部 15:30~16:40</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 幼小連携部会</li><li>● 教員の資質向上部会(小・中)</li></ul>	<b>6部 13:40~14:50</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 特色ある取組部会③(学校安全・読書活動)</li><li>● 学校と大学の協働的実践研究部会</li></ul>
<b>【教育講話】オンデマンド配信</b> <b>1/30(金)9:30 ~ 3/2(月)17:00</b> 演題：これからの教育に求められること ～深い学びの姿に向けて～ 講師 学習院大学文学部教授 東京大学名誉教授 <b>秋田 喜代美 氏</b>	<b>7部 15:30~16:40</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 特別支援教育部会</li><li>● 生涯学習部会</li></ul>

上記の各部会内容の詳細や参加申込方法等については、

右記二次元コード、または、当センターの**特設 Webサイト**

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/r07-kenkyu/>

を御覧ください。



### 参加申込みについて

**参加申込期間：令和7(2025)年11月19日(水) ~ 令和8(2026)年1月23日(金)**

- 上記特設 Webサイトから、入力フォームに必要事項を入力し、参加希望の部会等を選択してください。
  - ※ 参加される方が、各自でお申込みください。  
(団体での視聴も可能です。参加者数の把握のため、視聴人数の入力もお願いします。)
  - ※ 申込みの際、連絡可能なメールアドレスを入力してください。
  - ※ 申込みの後、自動で確認メールが返信されますので、御確認ください。
- 実施に関する変更等がある場合、当センターWebサイトにお知らせを掲載します。

【問合せ先】栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局 (研究調査部 028-665-7204)

# 総合教育センター開放事業「学びの杜の冬休み」の御案内

『学びの杜の冬休み』は、当センターの人的・物的資源を開放し、子どもたちの豊かな体験活動や生涯学習ボランティアにとっての学習機会を提供する目的で、毎年実施している事業です。子どもたちだけでなく、大人の方も楽しく学べる活動をたくさん用意しています。

日時：令和7(2025)年12月13日(土)【雨天決行】10時～15時（開場9時45分）

会場：栃木県総合教育センター

## 【予定している活動内容】

「ふれる」活動	「百人一首であそぼ&絵本の部屋でブックカードづくり」 「スポーツ広場」「知ってる?できる?なつかしの遊び」 「リズム楽器でアンサンブル」「あつまれ!テクノロジーの杜」等
「つくる」活動	「わくわく理科実験～スケルトンリーフのしおりをつくろう～」 「親子はり絵教室」「勾玉(まがたま)をつくろう」 「松ぼっくりツリーとクリスマスカードをつくろう」等
「考える」活動	「サイエンスショー&科学体験～空気で遊ぼう～」 「手話を楽しもう」 「電子オルゴールの製作」「おこづかいゲームをやってみよう!」 「算数・数学パズル」「いちごやニラのDNAを取り出してみよう!」等

※活動は、年齢、興味に合わせて自由に選べます。

- その他：・一部の活動では事前申込みや材料費の支払いが必要となります。事前申込みや、材料費が必要な活動については、下記Webサイトから確認及び参加申込みが可能です。
- ・活動によっては当日の受付順による定員制となるものがあります。
  - ・軽食の販売(数に限りがあるため完売したら販売終了)もあります。

◎各学校宛てに開催案内を送付しております。子どもたちへの周知に御協力ください。

## 【昨年度の活動の様子】



「スポーツ広場」



「リズム楽器でアンサンブル」



「おこづかいゲームをやってみよう!」

◎イベントの詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

[https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/blogs/blog\\_entries/view/155/3d4e22cfde51c4d5ee9b7570dd41c300?frame\\_id=204](https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/blogs/blog_entries/view/155/3d4e22cfde51c4d5ee9b7570dd41c300?frame_id=204)



【問合せ先】生涯学習部(Tel 028-665-7206)

# 調査研究(小・中・高)の中間報告

## 教員の資質・能力の向上に関する調査研究(小・中)

「小・中学校における教員の資質・能力の向上に関する調査研究」(2年目)では、県内の小・中学校から4名の先生方に研究協力委員をお願いし、昨年度の調査研究で明らかになった「校内研修が充実する5つのポイント」等を参考にしながら、教員の資質・能力の向上に資する校内研修の在り方について実践研究を進めています。6月には玉川大学大学院教育学研究科教授の久保田善彦先生をお招きし、学習会を実施しました。その後、研究協力委員と当センター指導主事で、校内研修の在り方について協議しました。現在は、研究協力委員の学校を訪問し、校内研修の実際の様子を取材しています。取材の様子等については、当センターの [Web サイト「調査研究通信」](https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/r06_konai_shochu/) を御覧ください。【 昨年度の調査研究はこちら → [https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/r06\\_konai\\_shochu/](https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/r06_konai_shochu/) 】



調査研究委員会での協議の様子

## 「深い学び」を促す単元(題材)を見通した授業デザインの工夫(高)

「高等学校における教科指導充実に関する調査研究」では、県内高等学校から7名の先生方に研究協力委員をお願いし、「『深い学び』を促す単元(題材)を見通した授業デザインの工夫」をテーマに調査研究を進めています。6月には当センターで学習会を実施し、京都大学大学院の石井英真准教授に御講話をいただきました。その後、研究協力委員と教科担当指導主事とで協議を重ね、単元計画を作成しました。現在は、授業実践の様子等を取材しています。調査研究の進捗状況や授業実践の様子は、当センターの [Web サイト「調査研究通信」](https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/r06_konai_shochu/) を、御覧ください。



学習会の様子

## プログラミング教育の充実を目指して

「教育の情報化に対応した学校の在り方に関する調査研究」は、昨年度からの継続で「プログラミング教育の充実を目指して」をテーマに進めています。5月には国立教育政策研究所教育課程調査官の渡邊茂一氏をお招きして学習会を行い、9月には文部科学省研究開発学校として「小学校 情報科」を設定している宮城教育大学附属小学校に視察に伺いました。現在は、小学校の先生2名と中学校の先生1名の研究協力員によるプログラミング教育の充実を目指した授業実践の様子を取材しています。調査研究の進捗状況等の様子は、当センター [Web サイト「調査研究通信」](https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/cyosa/cyosakenkyu/r06_konai_shochu/) を御覧ください。



学習会の様子

【 昨年度の調査研究はこちら → <https://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/ICTPortal/programming> 】

Web サイト「調査研究通信」はこちらから

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/02chosa/index.html>

調査研究通信

調査研究についての情報を  
随時、発信しています



【問合せ先】研究調査部(Tel 028-665-7204)

# たくさんの御応募ありがとうございました

## 栃木県児童生徒発明工夫展覧会

今年度は、小学校から6作品、中学校から145作品、高等学校から10作品、少年少女発明クラブから38作品、合計199作品の応募がありました。10月15日に栃木県産業技術センターで行われた審査の結果、金賞10作品、銀賞15作品、銅賞15作品が決定しました。なお、金賞を受賞した作品は、「第84回全日本学生児童発明くふう展」に出品されます。金賞受賞作品の概要を、当センターWebサイトにて紹介する予定です。御覧ください。

10月17日～19日に開催された展覧会では、多くの来場者が訪れました。今年度は、身近な課題の解決を目指した作品や、体の不自由な方の支援を意識した作品など、生活をより快適にするための工夫が多くありました。どの作品にも、出品者独自の視点による豊かな創造力が表現されており、「なるほど」と思わせる工夫が随所に見られました。また、毎年、社会状況を反映した作品も見られます。子どもたちが自らの発想を基に、試行錯誤を重ねながら作品を形にしていく過程は、さらなる学びを深める貴重な経験です。来年度も柔軟な発想から生まれる魅力的な作品を楽しみにしています。

### 【金賞受賞作品】



「害虫捕獲あんぜんクリーナー」



「ラクラク足スト  
キーボード変換器」  
他8点

## 日本学生科学賞栃木県大会

今年度は、中学校の部に14作品、高校の部に17作品の応募がありました。10月2日に当センターで開催された審査会において、中・高合わせて、最優秀賞6作品、優秀賞11作品、優良賞5作品が決定しました。最優秀賞に選ばれた6作品は、今後、中央審査に出展されます。

今年度の作品は、身近な疑問や日頃の授業の学びから疑問を見いだして研究を始めたもの、部活動や個人で長年取り組んできた研究をさらに深化させたものなど、テーマや内容は多岐にわたっていました。実験を行いながら工夫して実験道具を作りかえたり、膨大な量の実験データを集めて、分析や考察の方法を工夫したりするなど、探究の過程を踏まえながら丁寧に研究を進めている作品が多く見られました。

生徒の皆さんには、本大会への参加を通じて、身近な現象の中に隠れている謎や疑問について科学的手法を用いて探究し、その過程の中で論理的思考を身に付けながら、多くのことを学んでほしいと願っています。来年度も、物理・化学・生物・地学・広領域のそれぞれにおいて、「科学を楽しむ気持ち」をもって探究して練り上げた作品の出品を、お待ちしております。

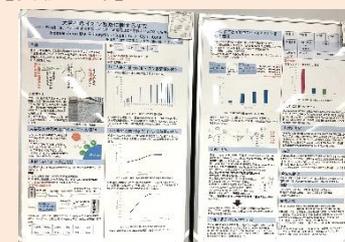
### 【最優秀賞・栃木県知事賞】

#### 【中学の部】



「物質の拡散速度の研究」

#### 【高校の部】



「大谷石のイオン吸着に関する研究」

上記の「栃木県児童生徒発明工夫展覧会」・「日本学生科学賞栃木県大会」については、右の二次元コードからもアクセスできます。11月下旬までに当センターWebサイトにて掲載予定です。



【問合せ先】研究調査部(Tel 028-665-7204)